

大隅大崎 神領 10 号墳と古墳のまつり

—5 世紀の前方後円墳祭祀と須恵器・土師器—

鹿児島大学総合研究博物館 第 39 回市民講座 2021 年 8 月 7 日

橋本達也（鹿児島大学総合研究博物館 教授）

はじめに

神領 10 号墳の発掘調査：2006 ～ 2008 年・2010 年

鹿児島大学総合研究博物館 2021.3 『大隅大崎 神領 10 号墳の研究 II』

近日、鹿児島大学リポジトリで公開。現在、手続き中。（『全国遺跡報告総覧』にもリンク）

1. 古墳時代とは（まずは初歩的ながら）

3 世紀中葉～7 世紀初頭：弥生時代・邪馬台国以後～飛鳥時代以前：5 世紀＝巨大古墳の時代

前方後円墳を中心とする古墳の形と規模によって被葬者の権力・身分を表示：政治関係の表示
政治・社会共通圏の形成

東北南部～鹿児島・広域の社会共通圏（弥生時代は地域圏の出現）

最大規模墳および大型古墳の集中

政治中枢の形成・ヤマト政権

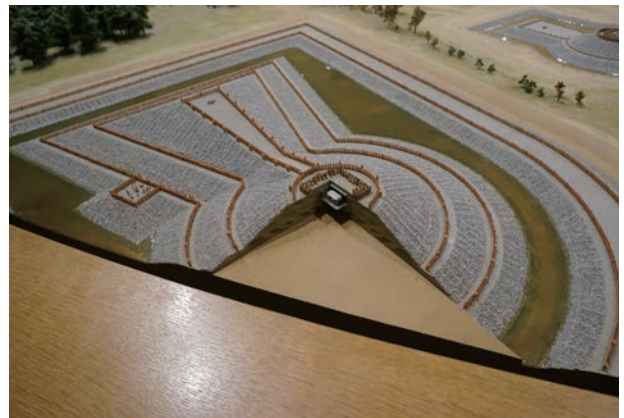
頻繁な地域間・広域交流

東アジア的規模

社会の複雑化－国家形成期



古墳の分布



大阪府近つ飛鳥博物館展示模型

古墳の構造

2. 神領 10 号墳とは

前方後円墳（墳丘長約 54m）

鹿児島県曾於郡大崎町（大隅半島肝属平野）

古墳築造最南端の地域

5 世紀前葉～中葉（TK216 型式段階・西暦 430 年前後、約 1600 年前）

今回はおもにクビレ部の調査成果を紹介

3. 神領 10 号墳クビレ部の発掘調査について

神領 10 号墳のクビレ部のまつり跡をみる—遺物出土状況—

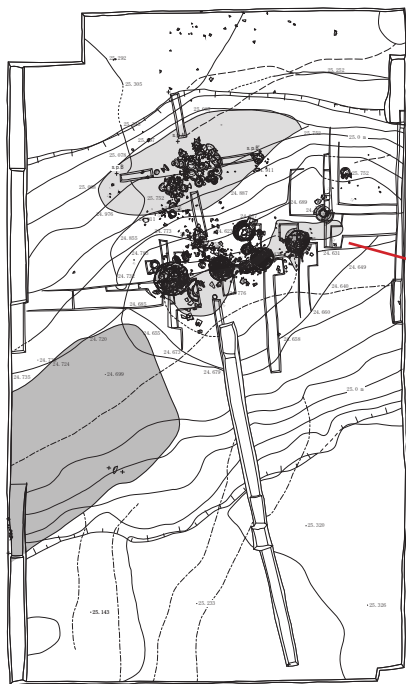
大きく 3 つのグループ + 1

小テラス土器群：小型土器：供膳具（高杯・杯・碗・甕）

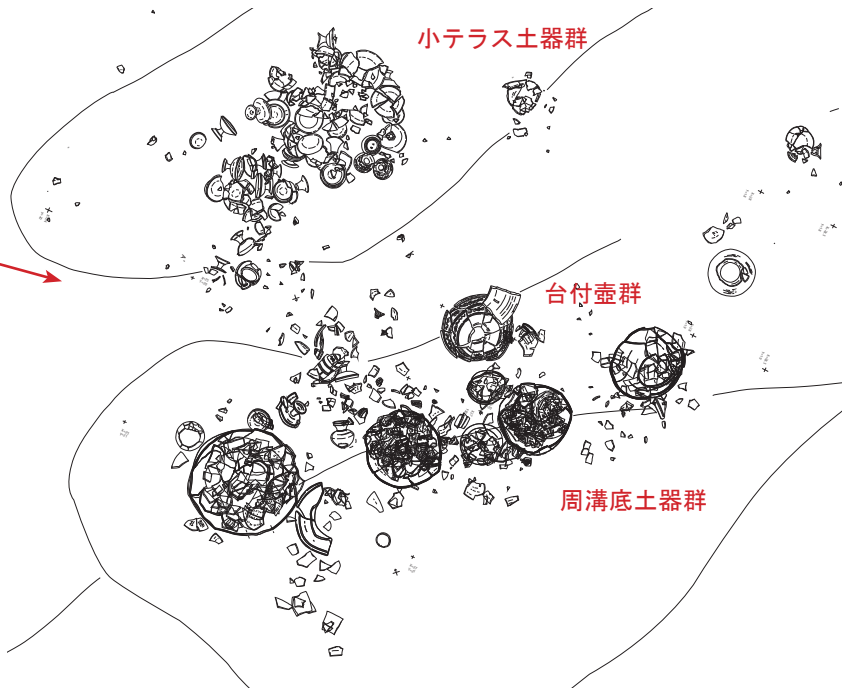
台付壺群：台付き土器 = 装飾・儀礼具（器台 + 壺）

周溝底土器群：大型土器：貯蔵具（甕壺）

土師器甕：煮沸土器



西側クビレ部



西側クビレ部土器群出土状況

4. 神領 10 号墳のまつりに使われた土器を知る

(1) 組み合わせ

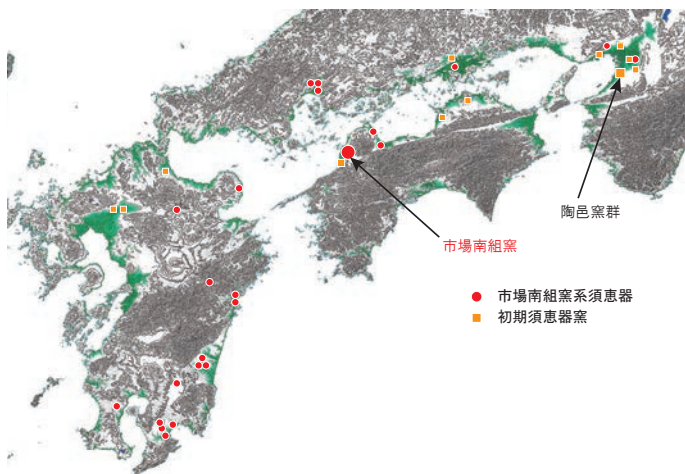
- 供膳具
- 装飾容器 (+ 台付)
- 貯蔵容器
- 煮沸具
- 製塩土器



クビレ部出土土器群一括

(2) 須恵器

- ・ 大部分は愛媛県伊予市・市場南組窯産須恵器
- ・ 一部は大阪府堺市陶邑窯産
- ・ 初期須恵器 = 朝鮮半島から陶工の渡来と須恵器生産の開始
- ・ 市場南組窯系須恵器の展開：愛媛県伊予市



市場南組窯系須恵器と初期須恵器窯



神領 10 号墳の須恵器

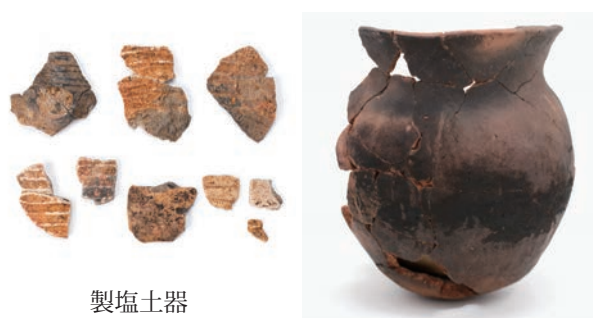
(3) 土師器

土師器の種類と特徴

- ・ 大部分は在地産
- ・ 一部は宮崎平野産
- ・ 産地不明含む（在地ではない）。
- ・ 土器製作技術の系譜は在地（成川式土器）ではない。宮崎平野以北、豊前・豊後等？近畿？か。
- ・ 製塩土器：大阪湾岸地域～東部瀬戸内



神領 10 号墳の土師器



製塩土器

土師器甕



内面の小剥離痕

5. 神領 10 号墳のまつりに使われた土器を比較する

(1) 組み合わせの比較

	古墳名 出土位置	野中		神領 10 号	堂山 1 号		宮山		長原 45 号	小田茶臼塚	古寺 6 号土壙		池の上 6 号
		主体部	墳頂	クビレ部	墳丘	墓壙	墳丘	第 3 主体	墳丘	前方部上	墳丘	主体部	墳丘
須 恵 器	高杯		1 +	15	11 +		3 +	2	2		4	1	1
	高杯蓋				13 +						2		3
	小型器台 (高杯脚部)		26 +										1?
	杯身			2			1 +	6	3				
	蓋	3	4	3			1		2				
	甗			2		1	1 +	1	2	1			1
	樽型甗						1						
	把手付椀	4		2		1					1	1	1
	台付壺		1 +	1									
	壺 (外反・直口・二重 口縁・短頸等)		24 +	4	2	1	1 +	1	1		2		5
	高杯形器台			1	3		1 +	1	4 +	8 +	2		1
	筒形器台			1					1 +				
	中型甗			3	3		1 +		3				
	大甗			1						7	1		
	小計	7	56 +	35	32 +	3	10 +	11			12	1	
須恵器計	63 +	35	35 +	21 +	18 +	16 +	14	13?					
土 師 器	有蓋高杯		57 +										
	高杯			24 +	1								
	蓋		40										
	杯		1 +	10									
	二重口縁壺		2 +	1									
	直口壺			1			1 +	2					
	小型丸底壺			1					1				
	甗		1										
	甗		1 +	1									
	韓式土器鍋								1				
	製塩土器			1									
	土師器計		101 +	39 +	1	3 +	2						
土器合計		164 +	74 +		36 +		24 +	20 +	16 +		14	13?	

(2) 大隅の古墳墓出土土器との比較

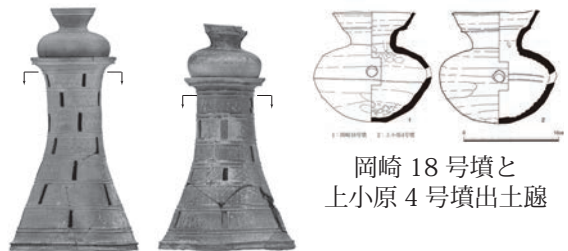
横瀬古墳を軸とする須恵器の分配一分析関係

	古墳名 墳丘	神領 10 号	岡崎 18 号	唐仁 19 号	塚崎 41 号
		前方後円 54	円 19	円 18	円 13
須 恵 器	高杯	15			
	杯身	2			
	蓋	3			
	甗	2	1		
	樽型甗		1		
	把手付椀	2			
	台付壺	1			
	壺 (外反・短頸等)	4		1	
	高杯形器台	1			
	筒形器台	1			
	中型甗	3			2
	大甗	1	1		
小計	35				
須恵器計	35	3	1	2	
土 師 器	高杯	24 +	12	7	3
	杯	10	1	5	
	二重口縁壺	1	1		
	直口壺	1			
	小型丸底壺	1	3		
	壺		2		
	甗	1			
	製塩土器	1			
土師器計	39 +	19	12	3	
土器合計	74 +	22	13	5	

墳丘規模は概算

数・種類ともに、全国的にみても、初期須恵器段階の古墳出土土器では、古市古墳群内の野中古墳に次ぐ内容。しかも出土状態・遺存状態が良好。

肝属平野では初期須恵器の出土が多く、横瀬古墳を中心とした分配が考えられる。神領 10 号墳はその中核的な存在。横瀬古墳 - 神領 10 号墳を中心とする地域首長権力。



神領 10 号墳と志和地出土品

6. 神領 10 号墳出土土器と祭祀

(1) 祭祀具としての土器

- ・ 3の倍数でそろえられた土器。
- ・ 供膳具 5～6セット
- ・ 無造作に集積したのではなく、組み合わせて使用した土器が配置されている
- ・ 祭祀が古墳で行われた

(2) 中久保辰夫の研究

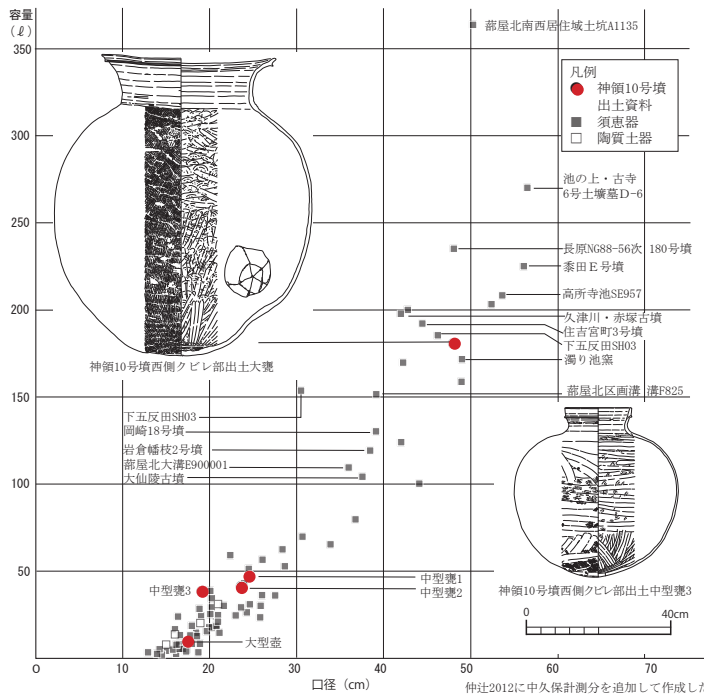
180ℓ・特大型・東アジアの中でも大型 大規模 饗宴

須恵器高杯と土師器中型高杯は機能・用途共通

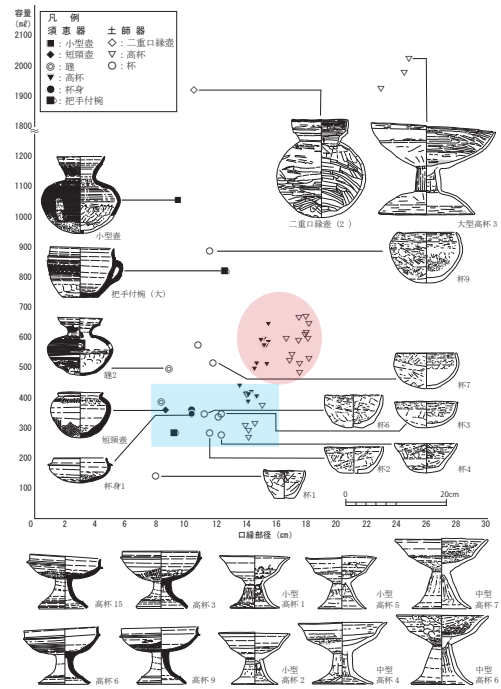
甕や短頸壺に容れた液体（酒）が、土師器杯や把手付椀に注がれた。

土器の産地に関係なく、葬送祭祀で使う土器の形・サイズに決まり事

伝統的な土師器と外来の須恵器の融合⇒先進文化の受容 新たな葬送祭祀



貯蔵容器の容量比較



土器の容量比較

(3) 破碎儀礼—祭祀の終焉—

須恵器という朝鮮半島からの新たな土器+前代からの古墳祭祀

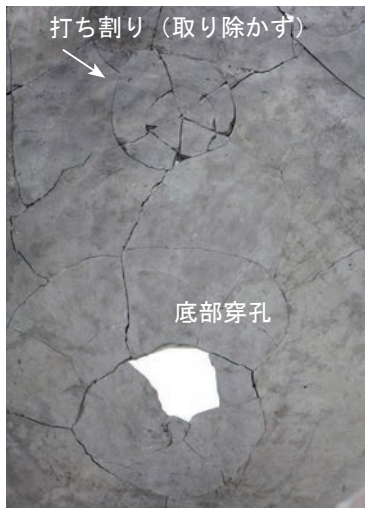
現地で実行

神領 10 号墳：底部穿孔

鹿屋市岡崎 18 号墳：口縁部と胴部の破碎 土師器も破碎



底部穿孔と破片接合



神領 10 号墳須恵器の底部穿孔

岡崎 18 号墳須恵器の破碎
(口縁部・胴部)

7. 神領 10 号墳のまつりを復原する

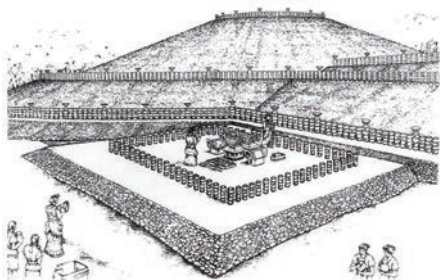
- ・大甕と杯：神領 10 号墳・岡崎 18 号墳
- ・高杯・杯の使用痕：実際に飲食物を用意し、共飲食を行った (×形骸・象徴：土製供物)
- ・土師器甕の煮沸
- ・特別な塩：浄め

破碎儀礼 (底部穿孔) = 伝統的祭祀

食物を供える・振る舞う + 大甕・甕：酒を供える・振る舞う

土師器の祭祀 + 初期須恵器 = 伝統的儀礼 + 新たな儀礼 (新来・創出)

= 新たな文化の受容・新しい祭祀



兵庫県行者塚古墳造り出し部の祭祀
(加古川市教委 1997 『行者塚古墳発掘調査概報』)



群馬県舞台 1 号墳出土
(群馬県教委 1991 『舞台・西大室丸山』)



兵庫県行者塚古墳出土
(大阪府立近つ飛鳥博物館 2012 『王と首長の督まつり』)

8. まとめ 神領 10 号墳のクビレ部で行われたこと

祭祀：墓前、葬送

饗宴・共飲食：供膳具・貯蔵具、酒宴

高杯：食膳

甕・壺 + 甕：振る舞い酒

器台 + 壺：お供え (御神酒)

首長権の継承